

ナヲ家元を^{けいしょう}継承

大正3年(1914)には、留萌には^{しちょう}支庁や^{じむしょ}土木事務所など

^{かんこうちょう}官公庁(※18)ができて、^{おくさまがた}役所の奥様方が^お習いに来ました。

そして、だんだんと弟子も増えていきました。



^{けいこ}稽古の様子

※18 ^{かんこうちょう}官公庁

国や北海道などの役所

ましけ ほんまけ 増毛の本間家(※19)には、小さいけれど素敵すてきな茶室があり、よくお茶会に使わせてもらったそうです。

けんさん ふきゆう 茶道の研鑽と普及活動によって、大正5年(1916)には、
せいげつりゅうせんちゃどう そうりつ 静月流煎茶道を創立するとともに、前年の悲しみを乗り越こえて、昭和7年(1932) 61才の時に、加藤一照かとういつしやう第17代せい静月菴せいげつあんより大和遠州流やまとえんしゅうりゅう茶道家元を継承けいしょうし、第18代静月菴せいげつあんとなりました。

やまとえんしゅうりゅう ほんきよ 北海道の留萌に大和遠州流茶道の本拠がおかれたのです。

※19 ほんまけ 本間家

ほんま げんざい くにまれしゅぞう
まるいち本間。現在の國稀酒造